

# コスタリカ内政・外交主要事項

## (2021年1月)

2021年1月の当国内政・外交主要事項を以下のとおり報告申し上げます。

### 【要旨】

#### 内政

- 1 大統領府データ分析機関（UPAD）スキャンダルについて、アルバラード大統領から押収された携帯電話及びコンピューターの情報抽出作業が開始された。
- 2 新型コロナウイルスに対し民間検査機関を拡充した。
- 3 コスタリカ特有種 T 1 1 7 I が増加傾向にある。

#### 外交

- 1 1月1日のキューバの革命記念日に当国外務省ツイッター公式アカウントから祝辞が発出されたことへのSNS上の批判の声が上がった。
- 2 韓国が2度目のマスクの寄付を行った。

### 【各論】

#### I 内政

##### 1 UPADスキャンダルで押収された大統領所持品の捜査

(1) 客年2月28日、本件スキャンダルへの関与容疑がかけられたアルバラード大統領官邸の家宅捜索が行われ、同大統領の携帯電話2台及びコンピューター1台が検察庁によって押収された。1月11日、これら押収物の情報抽出が開始された。右は、UPADが一般市民の（秘密であるべき）個人情報に不正アクセスをしたかを判断するための調査の一環である。

(2) エミリア・ナバス検事総長によれば、「ア」大統領の電子機器に続き、家宅捜索が行われた当時のビクトル・モラーレス大統領府大臣が所有していた携帯電話等の情報も抽出・精査され、その他当時の政府関係者であった参考人から押収した情報端末も順次調査の対象となる。また、参考人の所持していた情報端末に保存された情報を抽出し、分析・精査作業の末に、同調査に関連する情報が見つかった場合、これら端末は正式に証拠品として保管されることになる。

(3) 大統領官邸の家宅捜索から、押収品の中の情報へのアクセスが約1年も遅れた理由に関しては、ナバス検事総長は、「アルバラード大統領の担当弁護士らが、捜査プロセスを遅らせるための様々な手段を講じてきたため」と述べた。

##### 2 新型コロナウイルス民間検査機関の拡充

(1) セグーラ観光大臣は米国、英国、カナダ、スペインへの渡航者に対するPCR及び抗原検査を、国内民間機関130か所で受診可能とすると発表した。

(2) 今般の措置は、米国が1月26日、英国が同18日から全ての入国者に対して新型コロナウイルス感染症陰性結果の提示を求めることを発表しており、カナダ及びスペインはそれ以前から同検査結果を求めていることに対応するものであり、効率性・安全性・コストパフォーマンスの高いコロナ検査へのアクセス向上を図る。

(3) 検査結果は48時間以内に判明し、費用は100～150米ドルに設定される見込み。

### **3 コスタリカ特有種T117Iについて**

(1) コスタリカ大学等の専門家グループは昨年12月の段階で、SARS-CoV-2のコスタリカ特有種について報告していたが、研究を進めるにつれ、国内でのウイルスに占める割合が9月の14.5%から11月には29.2%まで増加していると発表した。

(2) 同種のゲノムは世界全体の0.08%足らずであるが、25.3%はコスタリカ起源とされている。

(3) 研究によると、同種の感染力がこれまでより強力だということを示す証拠は無く、またワクチンの有効性への問題についても証拠は出ていない。

(4) これまでに同T117Iが確認された国は、最初に見つかったドイツをはじめコロンビア、マレーシア及び豪州である。

## **II 外交**

### **1 キューバ革命記念日への外務省ツイッター祝意表明**

(1) 1月1日、当国外務省はツイッター公式アカウントで、「解放の日62周年に際し、コスタリカはキューバのご多幸を祈り祝意を表する」とのメッセージを発信した。右メッセージに対して、SNS上にて当国政府を非難する多くの声が上がるとともに、当国国会議員らからも反発の声が上がった。

(2) 4日、ソラーノ外相は、「SNSを通じて寄せられた一般市民による声、国会議員（福音派議員ら）によるいかなる指摘に関しても最大限の注意を払う必要があると考えており、4日早朝に外務省の関係職員を集め、他国に対して祝辞を表明する際にこれまでどのような基準が使われてきたか、今後は常に外交的、政治的考慮をした上でどのような基準にすべきか検討し、本件のような外交関係にある国に祝意を送るという儀礼的な手続きで全く不必要な混乱を招かないよう指示を出した」と述べた。また同外相は、ナショナルデーの由来は、アルゼンチンが1810年の独立記念日、イギリスが女王の誕生日であるように、国によって様々であると説明した。

(3) 3日、同省広報課は、ナショナルデーにおける祝辞発出は外交関係を有する国全てに行っており、（最近では）ラオス、アラブ首長国連邦、タイ、フィンランド、ハイチのナショナルデーにも同様のツイートをしたとしている。キューバへの祝辞発出も、2009年（アリアス政権期）に同国との外交関係が再開してからの慣習的手続きであるという。

(4) 他方、本紙が取材をしたゴンザレス元外相（ソリス政権）及びロベルシ元外務次官（チンチージャ政権）はキューバ革命記念日に関し、当国がキュー

バに祝意を表明したことはこの10年間記憶にないとしている。また、「ゴ」元外相は、「コスタリカがキューバの革命記念日を祝ったことに驚いた。国内的な論争を引き起こす可能性のあるテーマには注意が必要であり、広報課は事前に外相に諮るべきだった」と述べた。

## **2 韓国からの2度目のマスクの寄付**

韓国が2回目のマスクの寄付（44万7千枚。輸送費含め総額50万米ドル）を行い、当国外務省にて引渡し式が行われた。マカヤ社会保険庁（CCSS）長官同席のもとソラーノ外相が感謝の意を述べ、緊密な二国間関係について言及した。なお、マスクは同庁に寄付される。